

令和元年度 第5学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	<p>【課題】 ☆文章の内容を正確に読み取り、大事なことをつかみながら、自分の言葉で的確に要約できるようにしたい。</p> <p>【工夫】 ☆ことばの吟味 ・机間指導や個別指導で文の中での語句の役割や語句相互の関係に気を付けて文がどのように組み立てられているか意識しながら読んだり書いたりするよう声をかける。</p>	<p>A 指導目標の明確化と学習の見通し ・読み取る学習と書く学習を関連付けて行い、一連の流れとして学習の計画を立てることで、児童が学習に対して目的・目標意識をもつことができるようにする。</p> <p>E 相互の学び合いと手立て ・文章を読み合ったり、構成について友達同士で考えたりする機会を設け、文章の要点について考えられるようにする。</p>
社会	<p>【課題】 ☆表やグラフ、写真などの資料から情報を正確に読み取り、読み取ったことを相互に関連付けながら国土や産業に関する社会的事象について考察する力を育てたい。</p> <p>【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・資料の読み取りを個人で行うだけでなく、一斉で共有することで、自分が読み取ることができなかった情報なども共有できるようにした。</p>	<p>B 教材開発と工夫 ・グラフや表のみならず、写真や動画などの資料を豊富に用意し、視覚的に情報をとらえやすくする工夫を行うようにする。</p> <p>E 相互での学び合い ・グループで収集した情報や資料から自分たちの課題において必要なものを取捨選択する時間を確実に設けるようにする。</p>
算数	<p>【課題】 ☆根拠を明らかにして、筋道を立て、体系的に考えたり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする力をつけていきたい。</p> <p>【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・数、式、図、表、グラフなど様々な表現の手段を用いて考えたり、自分の考えを説明・表現したりする学習活動を充実させた。</p>	<p>C 補助教材の活用 ・板書のみならず、具体物や立体、電子黒板を使用しての動かせる図を活用することで、視覚的・感覚的に分かりやすい授業を行う。</p> <p>E 相互の学び合いと手立て ・自分で理解し、処理できる段階で終わらせず、友達の考えと自分の考えを比較し、違いを見つける活動を都度取り入れることで、表現力の向上を図るとともに、理解の定着を図る。</p>
理科	<p>【課題】 ☆知りたい情報を得るための実験について考え、条件整理の考え方をいながら正しく実験・考察する力をつけていきたい。</p> <p>【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・学習形態をグループでの学習にし、観察や実験の結果を相互に確認しながら進められるようにした。また、自分の考察と友達の考察を比較し、より深まった結論に至れるようにした。</p>	<p>A 指導目標の明確化と学習の見通し ・実験の方法について考える際、どんな条件整理を行うかについて話し合う時間を十分に確保し、実験すべきことについて見通しをもちやすくする。</p> <p>F 評価 ・活動の目的に即して結論を導いたり、まとめをしたりすることが出来ているかを、教師だけでなく友達同士や学級全体で相互に評価するようにする。</p>
体育	<p>【課題】 ☆個人の技量を高めるだけでなく、友達と協力しながら取り組み、よりよい方法について考えて実践できる集団としての力を育てていきたい。</p> <p>【工夫】 ☆補助教材の工夫 ・チームで話し合った作戦を記入したり、活動を振り返ってポイントや感想をまとめたりできるよう、ワークシートを活用した。</p>	<p>E 相互の学び合いと手立て ・運動する際、個人が立てたためあてを学級やグループの友達が分かるような掲示を行い、努力している様子が把握できるようにする。また、特に導入やまとめの段階で、児童同士の教え合いや認め合いの場面を多く設定し、教え合ったり認め合ったりする力をつけられるようにする。</p>

<p>外国語</p>	<p><b>【課題】</b>  ☆英語の理解に対する個人差が大きい、英語が苦手な児童が得意な児童に任せてしまい、習得に結びつかないことがある。また、グループで競うことで勝敗にこだわってしまい、学習の目的から外れてしまうことがある。</p> <p><b>【工夫】</b>  ☆相互の学び合いと手立て  ・コミュニケーションを図る活動の際には少人数で行い、なるべく全員が発言できるように学習形態を工夫する。</p>	<p>E 相互の学び合いと手立て  ・一人一人が参加することのできるゲーム内容にする。  ・コミュニケーションの活動に繋がるよう、表現の仕方を単元の前半で繰り返し練習する。</p>
<p>道徳</p>	<p><b>【課題】</b>  ☆資料を読み、自分だったらどうするか、登場人物の気持ちになって考えることはできるが、葛藤場面で本音を出し切れないことがある。  ☆ねらいとした価値について自分たちの生活などに照らし合わせて考えることは難しく、実践力を育てていく必要がある。</p> <p><b>【工夫】</b>  ☆教材開発と工夫  ・授業の導入で提示する資料や、提示の仕方などを工夫し、価値項目へ考えを向けやすくなるようにする。</p>	<p>D 補助教材の活用  ・場面の絵などを活用し、資料に合った効果的な資料の提示の仕方を工夫する。  ・課題がもてるように発問を精選し、個々の価値の深まりや自己の生き方の振り返りができるようにする。</p>
<p>今年度の成果と課題</p> <p><b>【成果】</b>  ・文章を読みあたり、自分の考えを伝えたりする経験を通して、相手を意識した伝え方ができるようになってきた。また、自分の考えを表現する活動を繰り返し行ってきたことで、よく考えてまとめようとする思考力が育ってきた。  ・学級活動(1)の学級会を1年通じて継続的に取り組んできたことで、自分たちで話し合いを進めること、目的を意識して自分の考えを伝えることなどができる児童が増えた。</p> <p><b>【課題】</b>  ・自分の考えを伝えようとする気持ちが育ってきている一方、他の人の話を共感しながら聞いたり、理解しながら聞いたりすることに課題が残る。自分に生かせるところがあることを理解させたい。  ・学級活動(1)の学級会では、焦点をしばって話し合いができるように事前に学級全体で議題について共有しておくこと、学級会で取り上げる議題の選定など、学級内での共通理解のはかり方に課題が残る。事前の司会グループとの話し合いはもちろん、クラス全体でも話し合いの目的、内容についての確認をしておきたい。</p>		